

文芸コーナー

短歌

俳句

雨風の強き夜過ぎて朝庭の倒れし苗木に棒をあてがふ
滝野 川辺 祐子
桑の実のジヤムはそれなりのおいしさと少年は摘む指先染めて
大森 三ツ木絹子
昨日より今日降る雨は色を増す紫陽花の径医院へ通ふ
小倉台 小澤美美子
住みよさが日本一なる町に居て木立の間より観覧車の見ゆ
草深 清田すみ江
かくはしき香たちある紅のはす亡夫に供へし仏壇のめぐり
小林 孝子

加藤恵美子選

田口 三石選

滝野 吉清 和子
内野 葛西 節子
小倉台 橋本 祐子
原山 入江 葉子
原 今野 肇

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート



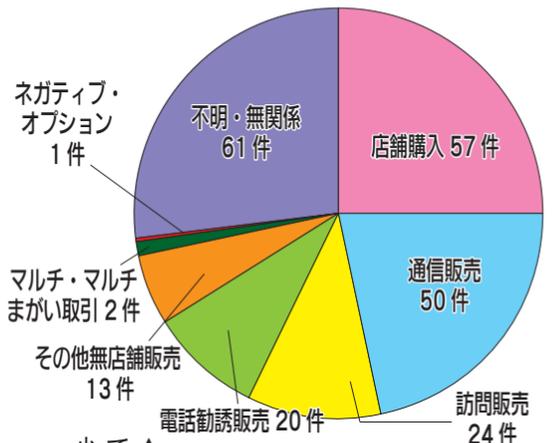
広報レポーター: 山田 一夫 (木刈)

身近なトラブルから市民を守る 「印西市消費生活センター」

「友だちになつてくれれば、500万円差し上げます」と言われ、メール交換するたびにポイントを買わされる。「優良な会社の未公開株を代わりに買ってあげれば、3倍の値段で買い取ります」：身近でこのような誘い文句でだまされそうになった話、聞きますか？
市役所の庁舎内に、暮らしの中の消費に関するさまざまな困りごとに、親身になってアドバイスをして貰える「印西市消費生活センター」があります。名前だけは知っています。

でも「こんな相談、受けてもらえるだろうか」と思う人も多いかもしれません。今回は、同センターの消費生活相談員の兵頭さんにお話を伺いました。

●販売購入形態(平成23年度)●



兵頭さんによると「昨年度センターで受けた相談件数は228件、2009年度比2倍増ですが、決して多いとは思いません。消費者被害の実数はもっと多く発生しているはず」とのこと。印西市では店舗や通販で買った商品についての相談が多いのですが、その内容や比率は右下図のごとく多岐にわたり、消費者も

▲かつて半数を占めていた店舗購入が減少傾向に



▲相談を受ける兵頭さん。取材中も電話対応で大忙しでした

遠慮せず疑問や要望を声に出すことが大事だと思います。訪問販売も警戒しなくてはなりません。年々消費者をだます手口は巧妙化し、法律に触れないよう、甘い餌で釣って、後に大事な資

産を搾取する悪い人たちも多数います。

「知っ得！消費生活」としてコラムを掲載したり、消費者セミナーの開催、またグループや団体で講座の希望があれば、少人数でも出前講座を開催することです。「怪しいな」と思ったら一人で悩まず、家族や親しい人に相談するのも大事なことです。センターに気軽に相談してみたいかがでしょうか。消費生活センターは、トラブル事例の情報も充実しており、事業者に対応する最適な方法を示してくれる、とても心強く親切な味方だと思います。

リサイクル情報広場

掲載情報は7月30日現在
●クリーン推進課クリーン推進班(☎内線383)

◆ゆづりませ情報(有料の物は希望価格)

- ①プリンター用のインク(2個で1千円)②小林中学校の学生服、長袖とワイシャツ(ズボン200円)、(ワイシャツ300円)③巻き革(牛革、1千円)④幼児用足こぎ四輪車⑤アルトサクソホン(7万円)⑥電子ピアノ(3万円程度)⑦印西しおん幼稚園帽子⑧千葉商科大学付属高校制服⑨買い物カート。

◆さがしています情報

- ①シルバニアファミリーのおもちゃ②印西中学校の女子用制服と運動着③しおん幼稚園、男児、女児ジャージ、男児女児体操服(大きめサイズ希望)④天神幼稚園男児制服、女児制服、ブラウスなど⑤犬用乳母車⑥ベビーカー⑦リカちゃん人形⑧補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



施設がいと

保健福祉センター

広報レポーター: 美馬 光実 (戸神台)

今月は高花郵便局の隣にある「保健福祉センター」を紹介いたします。平成5年に開設されたこの施設は「高花保健センター」



▲赤ちゃんの身体測定・栄養相談を行う「もぐもぐ教室」「かみかみ教室」の会場としても活用されています



「高花老人福祉センター」「子ども発達センター」の3つの施設が入った複合施設です。開所してから20年近く経つ施設ですが、モダンな外観で、館内は清潔感のある美しい建物です。玄関を入って、広い待合所の先に「高花保健セン



▲体操をする「いきいき体操サークル」のみなさん

ター」の予診室などがあります。月に10日程度、成人健(検)診や乳幼児健診などをやっており、成人福祉センターの施設に併設されており、60歳以上の高齢者のみなさんが無料で利用できます。取材当日「いきいき体操サークル」のみなさんが、イスに座りながらできるかんたん体操を

同センター職員の高橋さんに、創作活動による皆さんの作品を見せていただきましたが、どれも素敵な作品で、創作意欲を掻き立てられました。講座の中でも、特に人気なのが連続講座の「いきいき倶楽部」。毎年募集をかける、すぐに定員がいっぱいになってしまうそうです。人気の理由は、市のバスを借りての



▲センター主催の創作活動などは人気集中。手作りの小物などを作成します

最後に「子ども発達センター」では、各専門のスタッフのみなさんが、就学前の子どもたちの成長や発達について無料で相談に乗ってくれます。ご心配をお持ちの保護者のみなさんは、こちらも活用ください。保健福祉センター(☎472111代)。